



2019.03.12 News ミャンマー日本語学校「ジェイサットアカデミー」を訪問

ヤンゴンの日本語学校「ジェイサットアカデミー」を視察訪問した。

同アカデミー代表西垣充氏からミャンマーの現状、学校の経営方針につき、説明を受ける。西垣氏からは2月に当財団ニュースレターみらい19号に「毎月2万人以上が海外に流出—いま、ミャンマーは」の寄稿をいただいている。<http://ur0.biz/QpkX>
右の写真は卒業生の就職内定リスト。入学には、入学希望後7度にわたる面接が要る。合格率5%の難関。



すべてのミャンマー人がいい人とは限らないので面接選考は重要、と西垣氏。
職場でも「日本人ははっきり言うより、あいまいな言い方を好む」と事前教育する。



(教室には日本全土の地図。日常や赴任地で戸惑うことのないよう配慮がされている。)



(訪問記念撮影)

ミャンマーは長年の軍政から民政に移行中。産業の育成は途上にある。高学歴者は海外で就職する機会が多くなっているが、単に稼ぐためではなく、日本企業を選ぶ人たちは、将来の国造りに貢献する志を持っている可能性が高い。親日国ミャンマーで高い志をもって日本語と日本文化の教育に取り組む

西垣氏に心より声援を送りたい。

女性は30歳前後で、また男性も多くの方は、いつか帰国して、ミャンマーの産業に役立ちたいと考えている。